

発熱スクリーニングサーマルカメラ 設置・設定ガイド



測定可能温度帯: 30-45℃
動作環境温度: 10-35℃
測定誤差 (設置環境による): ±0.5℃
サーマル解像度: 160 × 120

タレット: DS-2TD1217B-3/PA

1 設置 (三脚取付)



三脚取付アダプター
タレット用



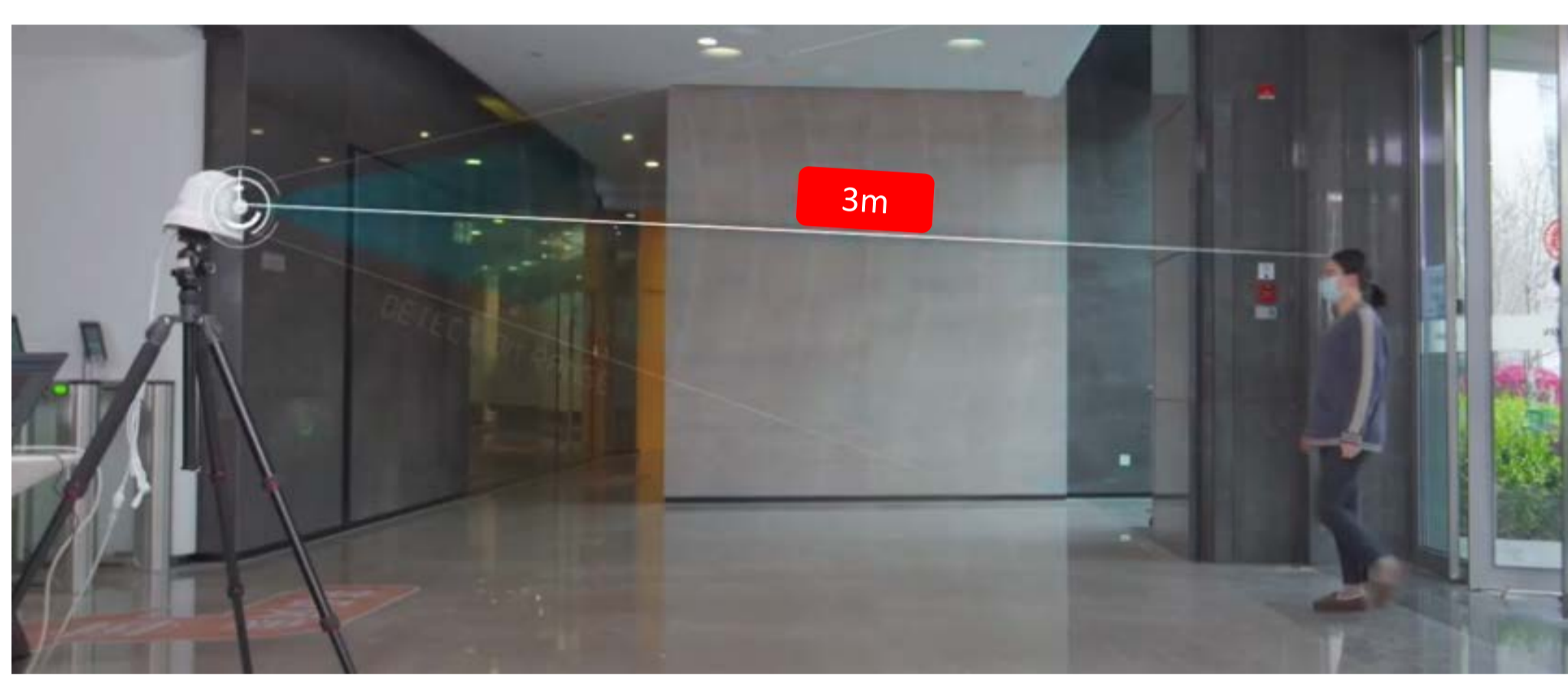
A. カメラにアダプターを取り付ける



C. 三脚にカメラを取り付ける



B. 三脚の雲台をアダプターに取り付ける



D. 設置完了イメージ(バレット)

設置推奨値		水平画角
設置高	距離 (対象人物～カメラ)	
1.5m～1.7m程度	0.8～3m程度	50°

2 設定

1. ログイン後、環境設定＞メンテナンス＞VCAリソースタイプで「体温」を選択して保存する



2. 環境設定＞ローカルで下図の様に各設定を選択し保存する



3. 環境設定＞体温＞基本設定で下図の様に各項目を設定し保存する

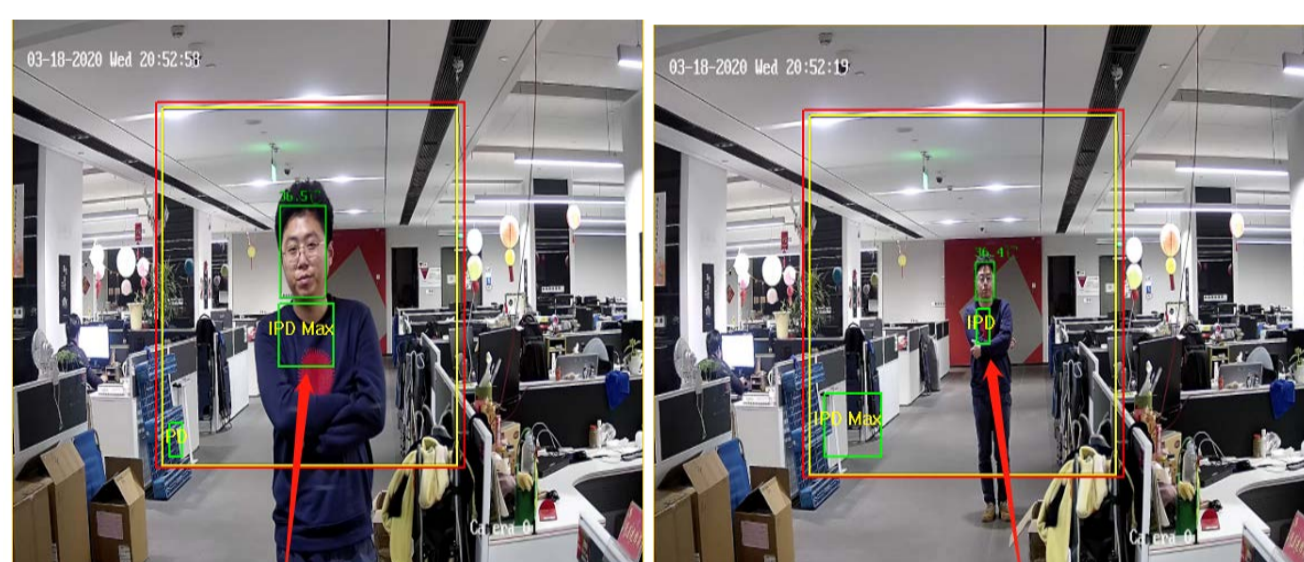


放射率: 人体の皮膚は通常0.98に設定。
距離: 実際のカメラと対象人物との距離を入力
(推奨 0.8～3m)

4. 次の体温設定を下記のように赤枠内を設定し保存する



「顔認証を有効にする」と「温度の表示」にチェックマークを入れる
「Upload Captured Face Image」と「Display Face Temperature Position」は基本的にチェックはオフとし、必要に応じてオンにする
「温度が上がったらアラーム」にアラーム発報基準温度を設定する
「プリアラーム温度」も設定し保存する



このページでは顔検知エリアの設定と検知する顔の最大サイズ、最小サイズを設定することができる

5. 次にカメラ02 (Thermal)の設定をする



ブラックボディを使用しない場合、「Enable Blackbody Correction」チェックをオフにする
体温補正のチェックボックスはオンにする
その他のパラメーターはデフォルト状態を維持する

3 注意

サーマルカメラは、使用場所の環境に大きく影響を受けます。そのため、使用する場所は極力、周辺温度が一定で風の無い、環境の安定した屋内としてください。

1. 体表面温度を測定するためカメラが確実に顔を撮影できる場所、一方通行の場所に設置してください。(後頭部や後ろ姿では計測できません)
2. 人の多すぎる場所、明るすぎる場所を避けてください。
3. 測定を行う30分以上前にはカメラ電源をオンにしてください。安定した測定にはサーマルカメラを予熱する必要があります。
4. 屋内と屋外で大きな温度差がある場合、対象人物が屋内に入ってから5分以上経過してから測定すると精度が向上します。
5. 測定は推奨する距離、高さで行ってください。推奨範囲を外れると誤差が大きくなります。